

ナメコ「福島N6号」の紹介

福島県農業振興課
平成28年11月

1 特長

- 菌床栽培の自然発生用品種。
- 福島県中通り地方におけるきのこ（子実体）収穫期は通常10月下旬から12月下旬。中晩生種である。
- 子実体の発生方法はパイプハウスを使用した自然発生であり、特別な技術を必要としない。
- 子実体は明褐色で、その形質は大型肉厚で堅く膜切れしにくく、原木栽培に近い特徴を有する。
- 菌床（2.5Kg）1個当たり平均650g程度の子実体収穫が期待できる。
- 一般の空調栽培ナメコと比較して、歯ごたえがあり風味が強い。
- 缶詰等の加工品への利用が期待される。

2 育成経過

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 平成21年 | 会津地方で発生した天然ナメコ子実体からの組織分離による系統収集開始 |
| 平成22年 | 菌床栽培・自然発生試験による栽培特性検定試験に供試 |
| 平成26年 | 選抜終了 |
| 平成27年 | 福島県内試験地にて自然栽培を実施して現地適応性を確認
育成完了 |



子実体発生
(10月下旬～12月下旬)



子実体（小さい□が5mm四方の大きさ）